

## 平成27年度第3回南国市総合教育会議 議事録

9:00	事務局	定刻となりましたので、ただいまより、第3回南国市総合教育会議を開会いたします。それでは、橋詰市長よりよろしくお願いいたします。
開会の挨拶	市長	本日はお忙しい中、南国市総合教育会議にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。本市におきましては、1月15日に山崎委員長・大野教育長の任期満了と同時に新教育委員会制度に入り、大野教育長には、これまでの教育委員長職と教育長職を兼ねた、いわゆる新「教育長」として任命をさせていただいております。また、濱田委員には引き続き3年の任期で、北村委員には、新たに4年の任期で教育委員にご就任いただきました。どうぞよろしくお願いいたします。これまででもくり返し申してまいりましたが、この総合教育会議についてですが、市長は予算の編成や執行、それから条例の提案などの権限を持っています。教育委員会は政治的な中立性、継続性、安定性を担っています。それぞれの役割と課題があるわけで、私としましては、この会議の場を通して、教育委員会との意思疎通を図り、南国市の教育行政の課題やあるべき姿を共有して、より一層実りのある教育行政の推進を図りたいと考えています。今回は会議次第にもありますとおり、「教育委員会の自己評価・点検」につきまして、皆様から報告をいただき、意見交換をさせていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。
協議 9:05	市長	それでは、議事に入らせていただきます。 まず始めに、「南国市教育委員会の自己点検・評価について」皆様方から報告をいただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。
	教育長	(資料に基づいて、南国市教育委員会の自己点検・評価について説明)
	市長	報告ありがとうございます。教育委員の皆様から補足等ございませんでしょうか。私の方からは、教育委員会が学力向上スーパーバイザーを高く評価していますが、教育委員から見て若年層の教職員の育成に効果が出ていると感じた具体的な事はありますでしょうか。
	教育委員	県内小学校ではベテラン教職員の退職の増加に伴い約100名の新規採用があります。丁度、職員の入替えの時期となっています。中学校では小学校ほど大量の採用とはなっていませんが、ベテラン度の低い若い教職員が指導に携わっている、という状況になっています。若い教職員が多いと活気があふれて良い面もありますが、保護者対応や複雑化した課題も多くなってきていますので、若年層の育成が喫緊の課題であると感じています。学力向上スーパーバイザーは、小学校の国語と算数、また、中学校の英語、数学、理科に配置し、日常的に支援していますので、若い教職員の授業への意欲が向上したと思います。それに伴い、子供の学ぶ意欲、学力の向上にも繋がっております。管理職は、若手教職員を育成していかなければなりません。日々、付いて指導はできませんので、教科の専門的な知識を持った学力向上スーパーバイザーが配置されることで、若手の育成だけでなく中堅層のやる気も育てられる良い制度だと思います。
	市長	スーパーバイザーは何名いますか。

教育長	5名です。配属校は決まっていますが、その他の学校にも指導に出向きます。
市長	保幼小連携プログラムの成果が見られるとありますが、修学前ではどんな成果が具体的にありましたか。
教育委員	全ての保育所、幼稚園でアプローチ・スタートカリキュラムが取り組まれています。小学校の教職員が保育や幼稚園に出向き、職員間の交流を進めることで、実際の子供の姿を検証しながら、子供の実態を確実に伝えることができます。保育、幼稚園で作成した引き継ぎシートを小学校が受け取り、子供の状態を把握することで、どう指導したら良いか共通理解を深めることができます。障害のある児童や家庭的に恵まれない児童の実態把握ができます。丁度、今頃の時期に、アプローチ・スタートカリキュラムとして、保育園児等が小学校の授業を見学し、1年生と遊んだり、また職員室の見学をしたりと、集団で学習するイメージを抱かせる時期となります。この取り組みにより、4月からの学校生活への抵抗をなくし、最近はクラスから飛び出していく子供も出てきていないことから、その成果が現れていると思います。
市長	ほかに皆様からありますか。なければ、「教育委員会の自己点検・評価について」の議事は終了させていただきます。教育委員会が重点的に取り組まれている内容がよく分かりました。今後も、南国市教育振興基本計画等で示しておられる、南国市の教育行政の課題やあるべき姿を共有して、より一層実りのある教育行政の推進を図りたいと考えています。よろしく願いいたします。 それでは、(2) その他に入らせていただきます。その他では、1件、平成28年度の南国市総合教育会議について協議いただきたいと思ひます。事務局より説明をお願いします。
事務局	お手元の、平成28年度南国市総合教育会議開催予定一覧表をご覧ください。平成28年度は、本年度と同様に本日の会を含め3回開催を予定しております。第1回南国市総合教育会議は、本日、平成28年4月19日(火)9:30~10:30に開催し、議事は、南国市教育大綱について、平成29年度からの次期南国市教育振興基本計画について、その他、としております。第2回南国市総合教育会議は、平成28年10月18日(火)9:30~10:30、議事は、次期南国市教育振興基本計画、その他を予定しております。第3回南国市総合教育会議は、平成29年2月24日(金)9:30~10:30、議事は、南国市教育委員会の自己点検・評価について、次期南国市教育振興基本計画について、その他を予定しております。その他、協議する必要がある事案が生じた場合、臨時的に開催されることがあります。
市長	事務局より説明がありましたが、来年度の開催予定についてご意見等はございませんでしょうか。
教育委員	異議無し。
市長	なければ、私から「第2回南国市総合教育会」で来年度以降の予算に関連しまして、施設・設備の充実にてご意見をいただきました。そのことで、報告を1点させていただきます。財政課長よろしく願ひいたします。
財政課長	平成28年度の当初予算ですが、教育費は20億7千万円で昨年度より1億円増

		<p>額となっています。その中で小中学校のエアコンの設置について予算を計上しています。28年度におきましては、中学校で3校、6,450万円を計上しています。引き続き、29、30年度で小学校を実施する予定で、30年度までには全ての小中学校でエアコンが設置される予定です。また、防災コミュニティ施設の整備につきましては、平成27年度に前浜地区の防災コミュニティ施設の建設を進めています。平成28年度は同じ前浜地区の防災コミュニティ施設の太陽光発電設備に1,000万円を計上しています。なお、大篠公民館につきましても、防災拠点施設としての建設を計画していきたいと考えています。</p>
	市長	<p>私としては、市の中央公民館、大篠公民館を別々に建設するのではなく、中央公民館内に大篠公民館を入れたり活動団体の拠点とするなど複合的な利用を考えています。また、相談が必要ですが、文化施設としての役割も持たせつつ防災コミュニティの施設としての整備も考えています。大篠地区の部落長の皆さんも、個別に施設建設するのではなく、総合的な公民館の建設について賛同いただきました。</p>
	教育長	<p>図書館のことでの質問につきましては、生涯学習課の方で対応するようにしております。</p>
	生涯学習課長	<p>第2回総合教育会議でご提案のありました図書館の3階スペースの活用についてでございますが、実施についての検討を重ねましたが、現施設でのスペースの活用は困難であると判断しました。その最大の理由は直接3階へ誰でも上がることが可能であることから、子供たちだけの使用では安全が保障できない点でございます。次に、スペースが前室24㎡と奥の和室12㎡の2室と狭く、布絵本づくりやお話会などで使用している稼働率も月の約半分と高いため、財政的にも安全のための人員を増員してまで実施するのは現実できでないと判断しました。</p>
	市長	<p>このことについて、教育委員の皆様から何かご質問はございませんでしょうか。</p>
	生涯学習課長	<p>教育委員から質問のありました、太陽光パネルの耐震性ですが、震度6まで大丈夫であることを確認しました。</p>
10:00	市長	<p>他に何もなければ、以上をもちまして、第3回南国市総合教育会議終了をさせていただきます。ありがとうございます。</p>